



ST8618-OD OGCラゲッジポケットネット

価格：オープン（実勢価格：2500円前後）
本体サイズ：約W900×H600（mm）

●アシストグリップにフックを引っ掛けて装着するポケット型ネット。グッズの収納袋や衣類をまとめておける



クルマでアウトドアを楽しむに特化



ST8619-OD OGCラゲッジボックス

価格：オープン（実勢価格：4000円前後）
本体サイズ：W606×H270×D404（mm）



●耐荷重は15kg。積み重ねてもデッドスペースを作らないスクエアで突起のない形状で、ベルトホールも備わる



FX8616-BK OGCエクステンションフック M6ホール用

価格：オープン（実勢価格：1300円前後）
重量：115g

●荷室壁面に備わるユーティリティホールを使いフックを増設する



FX8602-OD OGCハンギングセットカラビナ

価格：オープン（実勢価格：2000円前後）
全長：バンジーコード部約120cm、ループフック部約20cm

●バンジーコードに4つのループフックが備わり小物をつるせる



【エーモン・オージーシー】

amon OGC

☎エーモン工業 ☎0790-22-6262 www.amon.co.jp/

荷物の収納・整頓に便利なストレージボックス、荷物をつるして固定するロープとフック。汎用品をクルマに使うと、どうも「しっくりこない」ことが多い。

エーモンのアウトドアギアブランド、OGCのアイテムはデザイン、耐久性に加え「クルマで使う」ことを想定。例えばラゲッジボックス。荷室への収まりを考え、デッドスペースを作らないスクエアな形状で突起物を排除。フタに設けたホールにベルトやロープを通せば確実に固定できる。

頭上や荷室を活用できるアイテムにも注目だ。「ラゲッジポケットネット」は、網目が細かく小物の収納に便利。「ハンギングセット カラビナ」は長さを調節できるバンジーコードにカラビナタイプのループフックを設け、小物や軽量物のつり下げに便利なアイテム。どちらも樹脂製フックを採用することで内装の傷つきを防ぐ。「エクステンションフック M6ホール用」を荷室のユーティリティホールに取り付けると、フックを増設できる。



本家!?のアイコンを 軽規格で忠実に再現

サイドからのたたずまいは紛れもなくジムニーだけど、どこことなく英国の「あの名車」の雰囲気がある……。LAND GEM（ランドジェム）はフロントグリル、バックドアなど10の外板パーツで構成されるボディキットを装着したカスタムコンプリート車だ。

モチーフは、ランドローバーのディフェンダー。屋根の採光窓や横棧グリル、3分割のリア窓など本家の特徴を忠実に再現しているのがポイントだ。グループ会社でディフェンダーのスペシャリスト、サン・カーズが監修し西尾張三菱自動車販売が扱う。



【ランドジェム】

西尾張三菱自動車販売 **LAND GEM**

☎サン・カーズ ☎0586-45-6855 www.sun-auto.jp/

自由自在系・新プラットフォーム誕生



●ルーフラックパネルに刻んだスリットへのIPFランプの取り付け例。写真上は40インチライトバー、下は発売予定の首振りブラケットを使いワーキングランプを装着

JB64/74ユーザーにランプメーカーとして広く知られるIPF。フロントウインドーの幅にピッタリ収まるライトバーの600シリーズ40インチ、頑丈なグリルガードを思わせるランプステーとオフロードLEDランプの組み合わせは、車種専用設計ならではのフィッティングのよさ。ライティングカスタムの定番として人気のアイテムだ。

照らすことだけにたけたIPFがジムニーカスタムの新境地として着目したのが、ドリップレール（雨どい）の活用。レールに引っ掛けるレッグを介して取り付けるのが、車内に収まらない荷物を載せるルーフラック。なせ、畑道にも使えるルーフラックなのか。それにはランプと深い関係がある。IPFではルーフラックをさまざまなアイテムを取り付けられるプラットフォームと捉え、ワーキングランプ（作業灯）やライトバーの設置場所として活用。さらに、拡張性を持たせるためラックを構成するフロアバーにアイテムを簡単・確実に固定できる工夫を施した。

それが、ラックの天板になる6枚のフロアバーに刻んだ2本のスリット。ここにアイナットを仕込んでベルトを通すと荷物が留められる。キャンブギアの積みやすさにもこだわった。市販のストレージボックス（デモカーはOGCのラゲッジボックス）がパネル3枚の幅に収まり、外側のスリットを使って固定できる。高さにも注目。フラットタイプのラックにロータイプのレッグを組み合わせて高さを抑え、立休駐車場に対応。アルミ押し出し材を使い最大積載量を50kgに設定した。ラックへの昇降をアシストするリアラダー。丸形や角形が多いジムニー用のなかでは珍しい、4mm厚のアルミプレートをサイドフレームに採用。ここにもサービスホールが配され、専用ステーを使えばIPF製の2インチランプが取り付けられる。ブラケットを含めた重量は500mlペットボトル5本分（約2.6kg）の軽さ。前述したルーフラックと合わせて、スタイリッシュで機能的な「IPFスタイル」を提案する。



EXR-01
EXPルーフラックType A
価格:8万4000円(取付用レッグ:2万6400円)

拡張性を持たせたフラット型

ストレージボックスやテントなど、ジムニーの車内に収まりきらないキャンブギアを積むだけでなく、IPFの各種ランプの固定場所としても使えるプラットフォームとして機能。フロアバーにスリットが刻まれ、アイナットで荷物を確実に固定できる。ラック本体をドリップレールに取り付けるためのレッグも高さを抑えた作りで、勘合部をレールの根元に近づけることでレールにかかる負荷を抑えた。さらにラックのサイドフレームおよびフロアバーに付くウォールバーも発売予定。ラックの三面を囲える。



[アイピーエフ] IPF EXP SERIES

アウトドアで頼りになるジムニーと相性抜群のライティングギアを続々と発信し続けるIPF。その最新作は、ルーフラックとリヤラダー。これがよく考えられている。

©IPF ☎027-346-3316 www.ipf.co.jp/

文=湯目由明 text by Yoshiaki Yunome
写真=山内潤也 photo by Junya Yamauchi

JB64 JIMNY & JB74 JIMNY SIERRA Custom Parts Selection 2021

EXL-01 EXPリアラダー for JIMNY (JB64/JB74) 価格:4万9500円

IPFの優れた金属加工技術を生かしたアイテムで、ルーフラックと同様に拡張性を持たせている。従来のラダーのサイドフレームは丸形と角形が主流だったが、4mm厚のアルミプレートを採用。

ステップもアルミ製で、片手で持てるほど軽い。サイドのIPFフレームやリベットはサビに強いステンレス。6.5R16（外径763mm）のスペアタイヤと干渉しないようにクリアランスを確保。

DEMO-CAR IPF JIMNY OVERLAND style

闇夜を照らすオフロードランプやライトバー、下まわりを特殊コート剤「LINE-X」でガードしたワイルドな姿が冒険心をくすぐる。



EXL-01P EXP リアラダー用 ランプステー 価格:4950円

サイドフレームに設けられたサービスホールにネジ留めするランプステー。IPF製の2インチランプが装着可能となる。

